

寄付車を活用して平時と災害時の支え合いの仕組みをサポート(石巻信用金庫)

- 東日本大震災により、石巻市では約6万台の車が被災。震災後、寄付車を活用し日常生活の再建等を支援するため、一般社団法人日本カーシェアリング協会が設立された。
- 寄付車1台から始まった当協会の活動は、今や全国に広がり、地震・豪雨等の災害においては、数百台規模の支援車両を活用し、被災地での車の無償貸し出し支援を実施している。
- 当金庫は、当協会の活動に賛同し、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に向け支援・サポートを継続。現在は、当協会の事業規模拡大等により、運転資金による金融支援も開始している。

一般社団法人 日本カーシェアリング協会 (平成23年7月設立)

コミュニティ・カーシェアリング事業

- 住民同士で寄付車を共同利用し支え合いの地域づくりをサポート。
- 石巻市の被災地復興のほか、過疎化・高齢化等の課題を抱える地域に新たな絆をつなげている。
- 交通弱者同士が共同利用し経費実費は平等に分担。
- 当協会が伴走支援するとともに、地元企業がスポンサー制度で協賛金を提供することで支援。

カーシェア会 (全国29地域)

- 石巻から全国に広がり、全国で29地域が取り組む。
(令和8年3月末現在)
- ・宮城県石巻市：13地域
 - ・石巻市以外：16地域



・被災店舗を移転し再建した、あゆみ野支店の地区内「のぞみ野カーシェア会」のシェアカー。

災害時返却カーリース事業

平時は通常のレンタカーとして使用し、万が一災害が発生した場合は、被災地支援活動の車として車両を返却するという条件で借り受ける低価格のカーリース。



モビリティ・レジリエンス事業

地震・豪雨等による災害時には、車の被害を受けた方に寄付車を無償で貸し出し、災害時に車で困らない仕組みを構築。

全国の被災地での車の無償貸し出し支援

【当金庫における支援サポート】

- しんきんの絆復興応援プロジェクトによる助成
 - ・信金推薦枠として推薦し助成金獲得を支援。新事務所を設置。(平成29年)
- コミュニティ・カーシェアリングへの協賛
 - ・当金庫被災店舗を再建した「あゆみ野支店」の地区内で活動する「のぞみ野カーシェア会」のスポンサーとして協賛。(令和2年～)
 - ・東日本大震災後に新店舗として出店した「登米支店」の地区内で活動する「松の実フレンド」のスポンサーとして協賛。(令和5年～)
- 災害時返却カーリースの導入
 - ・営業車両として1台導入。(令和2年：現在返却済)
- その他の活動支援・サポート
 - ・活動運営資金を寄付。(令和5年)
 - ・中古軽自動車3台を寄付。(令和5年)
 - ・業界誌の「信用金庫」に地方創生の取り組みとして寄稿。(令和7年)
 - ・当協会が創設した「クルマ寄付パートナー制度」に登録。(令和7年)
 - ・当協会の拠点増設に係る寄付。(令和8年)
- 金融機関等の「特徴的な取組事例」に選定され表彰
 - ・当協会と連携・協力した、地方創生への一連の取り組みは、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に選定され、内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰を受賞。(令和5年)

(令和8年5月現在)